

みくに



〈みくに夏祭り・豊島中学校の皆さんによるソーラン節〉

2025年 標語聖句

[希望の計画]

あなたたちのために立てた計画・・・
それは平和の計画であって、災いの計画ではない。
将来と希望を与えるものである。

エレミヤ書 29章11節

社会福祉法人 みくに園

障害者支援施設 みくに成人寮

TEL: (0879) 68-3104 FAX: (0879) 68-3920

〒761-4661 香川県小豆郡土庄町豊島家浦902番地1

HP: <http://www.teshimamikunien.com>

南海トラフ巨大地震に備えて

施設長 松田 卓也

今後30年以内に80%程度の確率で発生するとされる南海トラフ巨大地震。地震や津波による甚大な被害が予測される中、私たちは障害者支援施設の職員として、利用者の命と生活を守るための備えを日々見直し、強化しています。

災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。だからこそ、いざという時に落ち着いて行動できるよう、平時からの準備と、職員一人ひとりの防災意識が欠かせません。

みくに園では、定期的な避難訓練やBCP(事業継続計画)の確認、備蓄品や通信手段の整備などを重要な課題と位置づけ取り組んでいます。

また、当施設は離島・豊島に位置していることから、災害時の孤立を想定し、地域の他施設や住民の方々との連携体制づくりも重要視しています。災害時に命を守るためには、施設だけではなく地域全体の「支え合う力」が求められます。

このたび、香川県福祉協会の防災委員長として、四国地区政策委員会に出席し、他県の障害者支援施設における防災への取り組みに触れる貴重な機会を得ました。中でも、高知県では、南海トラフ巨大地震を“必ず起こる災害”として捉え、行政と福祉施設が連携しながら、日常的な備えを重ねています。その姿勢に、私たちも大いに学ぶべき点があり、深い感銘を受けました。

防災は一時的な対策ではなく、日常の延長線上にあるべきものです。私たちは、南海トラフ巨大地震を「いつか起こる災害」ではなく「必ず起こる災害」として捉え、いざという時に命を守る行動がとれるように日々訓練を重ねてまいります。

そして、今後も利用者の安心・安全を第一に、地域と共に支え合いながら、持続可能な防災体制の構築を目指し続ける施設でありたいです。

～短冊に願いをこめて～

高齢者棟 セタ行事の様子

7月7日はセタ。高齢者棟では、利用者の皆さんと一緒にセタの行事を楽しみました。

それぞれの願いを短冊に書き、笹に丁寧に結びました。「嵐のDVDがほしい」「お寿司が食べたい」など、思い思いの願いごとが書かれた短冊が並び、笹もにぎやかに彩られました。

昼食にはセタそうめんが提供され、皆さん「おいしい」と笑顔になりました。

短冊を飾る姿やセタ飾りをじっと見つめる利用者さんの表情はとても穏やかで、季節の行事を通して、心温まるひとときとなりました。

〈高橋 記〉



「どんな願いごとにしようかな…
—文字—文字大切に」



「セタの笹の前で、皆で記念撮影」



「皆の願いが夜空に届きますように！」



「セタといえばやっぱりそうめん
つるっとおいしく夏の味覚を楽しみました」



「手作りのセタ飾りも
丁寧に作りました」

皆さんの願いが叶いますように！

令和6年度社会福祉施設等施設整備費補助金

「高齢者棟給湯設備更新工事」完了報告書

副施設長 高橋 香織

- ①工事名 社会福祉法人 みくに園 高齢者棟 給湯設備更新工事
- ②工事区分 大規模修繕等
- ③工事内容 既存ボイラー廃棄工事・エコキュート4台設置工事
- ④契約業者 児玉設備合同会社（代表社員 児玉信也）
- ⑤費用 総費用 12,386,000円
(工事価格 11,260,000円 消費税 1,126,000円)
助成額 8,532,000円
自己負担 3,854,000円
- ⑥期間 R6.11.25~R7.2.17
- ⑦竣工検査 R7.2.17 実施（香川県）
- ⑧設計管理費 合同会社 アトリオデザイン 1,650,000円（税込み）（自己負担）

この度、高齢者棟において使用していた重油ボイラー設備が老朽化し、交換時期を迎えていたことから補助金を活用して新しい設備へと更新しました。

従来の重油ボイラーは、導入費用を比較的抑えることが可能でしたが、離島という地域の特性上、今後も安定的に重油を供給できるのか不透明な状況にありました。

入所施設として、利用者の皆様へ安心して快適な入浴サービスを継続的に提供するためには、燃料供給の安定性が重要です。この課題を解決するため、信頼性の高い電力を活用した設備への更新を決定しました。

今回導入した電気設備は、臭いや騒音がなく、これまで以上に快適で安心して利用できる環境を実現しました。また、CO₂排出量を従来の重油ボイラーと比較して約30%削減することが可能です。豊島の豊かな自然を守るため、地球温暖化対策にも貢献します。

〈従来の給湯設備〉



ボイラー・重油タンクとも平成10年に設置

〈新しい給湯設備〉



エコキュート4台・湯量も十分確保されている

夏祭り2025

今年も豊島中学校の皆さんと一緒に、にぎやかで楽しい夏祭りを開催しました。
中学生による迫力満点のソーラン節と元気な「オー！」の掛け声で、みくに夏祭りがスタート！
会場には輪投げ、駄菓子屋、ジュース、アイスクリームなどの屋台が並びました。
利用者の皆さんは、思い思いに好きな屋台をまわって、笑顔いっぱいの時間を過ごしました。
〈高橋 記〉

いよいよ夏祭り スタート♪



[元気良く オー！
夏祭りだ！]



[開会宣言]



[中学生によるソーラン節披露]



[どのお菓子上にしようか迷っちゃう！]



[夏の風物詩・アイスも人気]



[真剣なまなざしで、
狙いを定めて！]



[中学生と楽しく交流]



[笑顔でいっぱいの夏祭り！]



[輪投げにチャレンジ]



[おいしいって最高！]



[何が当たるかな？]



[焼きそば・たこ焼き・フランクフルト
からあげ・ポテトの夏祭りメニュー]



[好きなお菓子をゲット！]

豊島地区連合運動会

5月18日、今年も豊島地区連合運動会に参加しました。当日は青空が広がり、とても良いお天気に恵まれました。ビートルズの「オブ・ラ・ディ、オブ・ラ・ダ」の曲に乗って元気良く鳴子を鳴らし、チーム「みくに」の一体感を披露することができました。「楽しかった」と笑顔で話す利用者さん達の笑顔は自信に満ち溢れ、輝いていました。

地域の方々から大きな拍手を頂き、利用者の皆さんがヒーローになった一日でした。

〈古川 記〉



* 行事 *

- 7月 9日 夏祭り
- 7月30日 虐待防止研修（外部講師）
- 8月12日 夏休み開始（帰省日）
- 8月16日 夏休み終了（帰寮日）
- 8月18日・19日 済生丸健診
- 9月 3日 パワーハラスメント研修（外部講師）
- 9月 津波想定避難訓練
- 9月 火災想定避難訓練

* お知らせ *

- * 5月20日、みくに園周辺の水路掃除・草刈りを行いました。雑草やごみを取り除いたことで、周辺は見違えるほどきれいになりました。これにより、水路の流れも改善し、大雨の時の水はけが良くなるなど、災害対策としての効果も期待されます。
- * 6月9日～6月20日、高松大学発達科学部子ども発達学科の学生1名を実習生として受け入れました。高齢者棟の外出支援にも参加していただきました。

編集後記

大阪万博が賑わいを見せています。普段は物静かな利用者さんが、「万博！」と自分から声を発し、「外出したい」という思いを伝えてくれたことに私は嬉しくなりました。すべての願いを叶えることは難しいかもしれませんが、それでも利用者さん一人ひとりの思いに寄り添った支援をしていきたいと改めて感じました。

6月には高松への外出や高松大学の実習生の受け入れ、「ハンバーガーみくに」の開催がありました。7月には夏祭りを行い、いつもとは違う食べ物や人との出会いに、利用者さんが楽しそうに過ごされる姿が見られました。こうした機会は、私たち職員にとっても学びの時間となっています。利用者さんの思いに気づき、耳を傾けられる存在でありたいと思います。

「教えてくれてありがとう」の気持ちを胸に、これからも支援を重ねていきます。

〈島本 記〉

* みくにだよりへのご意見をお待ちしています。

E-mail: kgk03317@nifty.com

FAX: 0879-68-3920

みくにだより編集部：（166号 2025年7月発行）